

## 「に従って」「につれて」「にそって」の使い方

漢字では、下記のように書かれます

にしたがって	に従って
につれて	に連れて
にそって	に沿って、に添って、に副って

中国語に翻訳するときには、下記のように表現されるようです

に従って	随着、按照、根据
につれて	随着、跟着、
にそって	按照、一致、紧跟

似たような表現では下記のようなものもあります。

に伴って	随着、伴随
とともに	随着、同時

「AにつれてB」「Aに従ってB」はともに、Aの動き（変化）に呼応するようにBが変化することを示します。

例文1. 温度が上がるにつれて／従って 分子の動きが活発になってくる

例文2. 月日が経つにつれて／従って 記憶が薄れていく

例文3. 山頂に向かうにつれて／従って 視界が開けてくる

上記で、「に従って」の方が、BがAの動きに、より従属的であるという感じを与えますが、ほとんど同じに使えます。

「従う」には、命令、指示、規範に従うという意味があり、この場合には「につれて」は使えません。また「Aに従ってB」の「A」は名詞になります。

例文4. 手順書に従って、操作を行ってください

例文5. 見学の際には、ガイドの指示に従って、行動しなければならない

「にそって」も「に従って」で置き換えられる場合と置き換えられない場合があります。

例文6. 基本方針にそって具体案を作成した

例文7. ご要望にそうよう努力します

例文8. 目的にそった方法を検討してみました

上記で例文6は、例文4、5と同じで「に従って」も使用可能。例文7は「要望を満足するよう」の意味で、例文8は「目的に合致した」の意味になり「従う」は使えません。

例文 9. 川岸に沿って柳が植えられている

上記は「沿う」の本来の意味で使われているので「に従って」は使えません。

一回しか発生しない事象に対しては「につれて」「に従って」は使えず、「に伴って」「とともに」を使います。

例文 10. 地震の発生に伴って、津波が襲ってきた

前に説明したように、「AにつれてB」「Aに従ってB」の「A」には通常、動詞が使われます。一方「に伴って」「とともに」の場合には、名詞を使うことができます。

例文 11. 飛行機が上昇する につれて／に従って／に伴って／とともに  
空気が薄くなってきた

例文 12. 飛行機の上昇 に伴って／とともに 空気が薄くなってきた